

**IBM DB2 Information Integrator
OmniFind Edition**



エンタープライズ・サーチ インストール・ガイド

バージョン 8.2

**IBM DB2 Information Integrator
OmniFind Edition**



エンタープライズ・サーチ インストール・ガイド

バージョン 8.2

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： GC18-9282-00
IBM DB2 Information Integrator
OmniFind Edition
Installation Guide for Enterprise Search
Version 8.2

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2004.11

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2004. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2004

目次

まえがき	v	エンタープライズ・サーチの検索コンポーネントをインストールする	22
「エンタープライズ・サーチ インストール・ガイド」について	v	エンタープライズ・サーチの索引コンポーネントをインストールする	23
第 1 章 エンタープライズ・サーチにサポートされるオペレーティング・システムと必須ソフトウェア	1	第 6 章 インストール後の作業	25
エンタープライズ・サーチのハードウェア要件とディスク・スペース所要量	2	ファースト・ステップを開始する	25
第 2 章 エンタープライズ・サーチのインストールの概要	5	Linux および AIX 上でエンタープライズ・サーチを開始する	25
エンタープライズ・サーチのインストール・ディレクトリーとデータ・ディレクトリー	8	Windows 上のエンタープライズ・サーチを開始する	26
エンタープライズ・サーチ管理者ユーザー ID とパスワード	8	インフォメーション・センターを開始する	27
第 3 章 前提ソフトウェアのインストールの概要	9	エンタープライズ・サーチの資料	28
前提ソフトウェアのインストール	9	Linux および AIX 上のエンタープライズ・サーチをアンインストールする	29
WebSphere Application Server Network Deployment フィックスパック 1 ソフトウェアをインストールする	11	Windows 上のエンタープライズ・サーチをアンインストールする	30
第 4 章 シングル・サーバー・インストールの概要	13	アクセス支援	31
エンタープライズ・サーチをシングル・サーバーにインストールする	15	キーボードによる入力およびナビゲーション	31
第 5 章 マルチサーバー・インストールの概要	17	キーボード・フォーカス	31
エンタープライズ・サーチをマルチサーバーにインストールする	20	キーボード入力	31
エンタープライズ・サーチのクローラー・コンポーネントをインストールする	21	キーボード・ナビゲーション	31
		アクセスしやすい表示	32
		フォントの設定	32
		色に依存しない	32
		支援テクノロジーとの互換性	32
		アクセスしやすい資料	32
		特記事項	33
		商標	35
		IBM と連絡を取る	37
		製品情報	37
		索引	39

まえがき

「エンタープライズ・サーチ インストール・ガイド」について

本書を使用して、DB2[®] Information Integrator OmniFind[™] Edition バージョン 8.2 (エンタープライズ・サーチ) をインストールする際に役立ててください。

DB2 Information Integrator OmniFind Edition を使用することによって、お客様の企業全体にわたって、ユーザーがデータを検索できるようになります。このテクノロジーは、エンタープライズ・サーチと呼ばれます。エンタープライズ・サーチ・コンポーネントは、IBM[®] DB2 Information Integrator OmniFind Edition をインストールするときに、インストールされます。CD ラベルや特定の製品コンポーネントに言及する場合を除き、DB2 Information Integrator OmniFind Edition の資料内では『DB2 II OmniFind Edition』の代わりに『エンタープライズ・サーチ』という用語が使用されています。

本書には、DB2 Universal Database[™] 製品、WebSphere[®] Application Server Network Deployment 製品、またはフィックスパックのインストール方法に関する固有の情報は記載されていません。各製品のインストール情報については、その製品の資料を参照してください。

ソフトウェアをインストールする前に、『1 ページの『第 1 章 エンタープライズ・サーチにサポートされるオペレーティング・システムと必須ソフトウェア』』を必ずお読みください。他のエンタープライズ・サーチの資料については、『28 ページの『エンタープライズ・サーチの資料』』を参照してください。

本書の対象読者

エンタープライズ・サーチ・コンポーネントを 1 つ以上のサーバーにインストールしたい場合は、本書をお読みください。本書の読者には、ご使用のオペレーティング・システムを構成する方法に関する知識があり、システム管理者の権限および特権があることが必要です。DB2 Universal Database および WebSphere Application Server をインストールする前に、それぞれの製品の資料を必ずお読みください。これらの製品は、エンタープライズ・サーチの前提条件となる製品です。

本書の使用方法

本書には、UNIX ベースのオペレーティング・システム (Red Hat Linux[™]、SUSE Linux、および AIX[®]) および Windows[®] の場合についての説明が記載されています。Linux および AIX のコマンドまたは命令は、特に断りがないかぎり、同じです。エンタープライズ・サーチを UNIX ベースのオペレーティング・システム上にインストールする場合は、『UNIX[®]』と明記されている説明に従ってください。Windows 上にインストールする場合は、『Windows』と明記されている説明に従ってください。

第 1 章 エンタープライズ・サーチにサポートされるオペレーティング・システムと必須ソフトウェア

エンタープライズ・サーチをインストールする前に、ハードウェア要件およびソフトウェア要件に適合していることを確認してください。

サポートされるオペレーティング・システム

エンタープライズ・サーチは、以下のオペレーティング・システム上でサポートされます。

- AIX 5L および 5.2 (August 2004 C++ Runtime for AIX PTF 適用済み)
- Red Hat Enterprise Linux Advanced Server Version 3.0, Update 2, kernel 2.4.21-9.ELsmp
- SUSE Linux Enterprise Server 8
- Microsoft® Windows 2000 Server

AIX 5.2 PTF をダウンロードするには、以下の手順を実行してください。

1. Web サイト www.ibm.com/software/awdtools/vacpp/support/ にアクセスする。
2. 「Download」の下にある「**All updates (fixes, patches, etc.)**」をクリックする。
3. 「**Additional search terms**」フィールドに、「AIX PTF August 2004」と入力する。「**Platforms/Operating system**」フィールドで、「AIX」を選択する。「**Download type**」フィールドで、「-Updates」を選択する。「**Go**」をクリックする。
4. 検索結果のリストで、「**August 2004 C++ Runtime for AIX PTF**」を選択する。

PTF のインストール方法についての説明は、AIX の資料を参照してください。

必須ソフトウェア

エンタープライズ・サーチには、以下のソフトウェアが必要です。

- IBM DB2 Universal Database Enterprise Server Edition バージョン 8.2
- IBM DB2 Universal Database Information Center バージョン 8.2
- IBM DB2 Universal Database Run-time Client バージョン 8.2
- IBM WebSphere Application Server Network Deployment バージョン 5.1.1 (Web アプリケーション・サーバー、IBM HTTP Server、および Deployment Manager を含む。バージョン 5.1.1 は、バージョン 5.1 にフィックスパック 1 を適用済み。)

Lotus Domino データベースを検索したい場合は、Lotus Domino Server 6.0.2 以降 (AIX または Linux 版) あるいは Lotus Notes 6.0.2 (Windows プラットフォーム) をインストールする必要があります。Lotus Domino Server または Lotus Notes は、クローラー・サーバーにインストールします。Lotus Domino Server および Lotus Notes では、エンタープライズ・サーチは提供されません。別々に購入する必要があります。

あります。スクリプトは提供されており、Domino サーバーがエンタープライズ・サーチと連動するように構成します。

オプションのソフトウェア

Lotus Domino データベース、DB2 Content Manager データベース、フェデレーテッド・リレーショナル・データベースのようなデータ・ソースをクロールしたり、またはカスタム検索アプリケーションを作成したりするために、以下のソフトウェアをインストールすることができます。

- IBM Lotus® Domino® Server 6.0.2 (Linux 版および AIX 版) または Lotus Notes 6.0.2 以降 (Windows 版)。
- IBM DB2 Content Manager Toolkit バージョン 8.2 (Linux 版) または IBM DB2 Information Integrator for Content バージョン 8.2 (Windows 版および AIX 版)。
- Java™ Development Kit 1.3.x または 1.4.x (JDK 1.5 はサポートされない)。エンタープライズ・サーチ API で作成される Java 検索アプリケーションをコンパイルするために必要です。これらの JDK は、エンタープライズ・サーチのインストールには必要ありません。

関連概念

13 ページの『第 4 章 シングル・サーバー・インストールの概要』
シングル・サーバー・インストールの場合は、すべての前提ソフトウェアとエンタープライズ・サーチを 1 つのサーバーにインストールします。

関連タスク

15 ページの『エンタープライズ・サーチをシングル・サーバーにインストールする』
インストール・ランチパッドを使用して、エンタープライズ・サーチを 1 つのサーバーにインストールします。

関連資料

『エンタープライズ・サーチのハードウェア要件とディスク・スペース所要量』
ハードウェア要件は、ご使用のオペレーティング・システムとエンタープライズ・サーチの使用目的によって決まります。

28 ページの『エンタープライズ・サーチの資料』
DB2 Information Integrator OmniFind Edition (エンタープライズ・サーチ) の資料は、PDF または HTML の形式で読むことができます。HTML のトピックを表示するには、DB2 インフォメーション・センターを開始してください。

エンタープライズ・サーチのハードウェア要件とディスク・スペース所要量

ハードウェア要件は、ご使用のオペレーティング・システムとエンタープライズ・サーチの使用目的によって決まります。

ハードウェア要件

ディスク・スペース所要量は、クロールしたい文書の数とクロールするデータ・ソースのタイプによって異なります。これらの要件は、継続的に索引を作成すること、つまり索引に新規文書が追加、除去、更新されることを前提としています。マ

ルチサーバー構成の場合、スペース所要量は索引サーバーに影響を与えます。
ES_NODE_ROOT ディレクトリーには、ご使用のシステム上で最大のディスク・スペースが必要です。

最小ハードウェア要件と最小ディスク・スペース所要量を、シングル・サーバー構成とマルチサーバー構成について、以下のリストに記載します。

小規模ソリューション

シングル・サーバー構成

- 2 つ以上のプロセッサー: Intel および AMD の場合 2.0 GHz 以上; RISC の場合 1.5 GHz 以上
- RAM 4 - 6 GB (追加のアクティブ・コレクションごとに、RAM 1 - 2 GB を追加)
- ディスク・スペース 200 GB (1 つ以上のコレクションで 1 000 000 文書、平均文書サイズ 20 KB の場合)

中規模ソリューション

4 サーバー構成

- 2 つ以上のプロセッサー: Intel および AMD の場合 2.0 GHz 以上; RISC の場合 1.5 GHz 以上
- 各サーバーに RAM 4 - 6 GB
- ディスク・スペース 2 TB (1 つ以上のコレクションで 7 000 000 文書、平均文書サイズ 20 KB の場合)

大規模ソリューション

4 サーバー構成

- 4 つ以上のプロセッサー: Intel および AMD の場合 2.0 GHz 以上; RISC の場合 1.5 GHz 以上
- 各サーバーに RAM 8 GB (Windows の場合、RAM 4 GB)
- ディスク・スペース 6 TB (1 つ以上のコレクションで 10 000 000 文書、平均文書サイズ 20 KB の場合)

関連資料

1 ページの『第 1 章 エンタープライズ・サーチにサポートされるオペレーティング・システムと必須ソフトウェア』

エンタープライズ・サーチをインストールする前に、ハードウェア要件およびソフトウェア要件に適合していることを確認してください。

28 ページの『エンタープライズ・サーチの資料』

DB2 Information Integrator OmniFind Edition (エンタープライズ・サーチ) の資料は、PDF または HTML の形式で読むことができます。HTML のトピックを表示するには、DB2 インフォメーション・センターを開始してください。

第 2 章 エンタープライズ・サーチのインストールの概要

DB2 Information Integrator OmniFind Edition は、1 つまたは 4 つのサーバーにインストール可能なエンタープライズ・サーチ・ソリューションを提供します。(他の構成はサポートされていません。)

UNIX ベースのオペレーティング・システム (Red Hat Linux、SUSE Linux、および AIX) および Windows の場合について、インストール情報の説明が記載されています。Linux および AIX のコマンドまたは命令は、特に断りがない限り、同じです。エンタープライズ・サーチを UNIX ベースのオペレーティング・システム上にインストールする場合は、『UNIX』と明記されている説明に従ってください。Windows 上にインストールする場合は、『Windows』と明記されている説明に従ってください。

インストール・シナリオ: シングル・サーバーまたはマルチサーバー

シングル・サーバー構成の場合は、前提ソフトウェアとエンタープライズ・サーチ・コンポーネントを 1 つのサーバーにインストールします。この構成は、中規模から大規模のコレクションを作成する予定の場合は、お勧めしません。シングル・サーバー・インストールについての詳細は、13 ページの『第 4 章 シングル・サーバー・インストールの概要』を参照してください。

マルチサーバー構成の場合は、処理のワークロードが複数のサーバーに分散するように、前提ソフトウェアとエンタープライズ・サーチ・コンポーネントが別のサーバーにインストールされます。マルチサーバー構成についての詳細は、17 ページの『第 5 章 マルチサーバー・インストールの概要』を参照してください。

DB2 Universal Database、DB2 インフォメーション・センター、WebSphere Application Server (IBM HTTP Server を含む)、および WebSphere Application Server Deployment Manager を、ユーザーが手動でインストールしたい場合 (または、これらの製品がすでにインストール済みの場合) を除いて、これらはエンタープライズ・サーチ・インストール・プログラムによってインストールされます。エンタープライズ・サーチ・インストール・プログラムを実行した後で、Domino スクリプトまたは DB2 Content Manager スクリプトを実行することができます。インストール・プログラムは、これらのスクリプトをインストールしません。

言語選択

複数の言語を選択して、インストールすることができます。言語を選択すると、エンタープライズ・サーチ・コンポーネントと資料 (PDF ファイルおよびインフォメーション・センター) は、その言語でインストールされます。複数の言語を選択すると、使用されるディスク・スペースのサイズが増加します。

また、その製品が翻訳済みであっても、すべての資料が選択言語で翻訳済みとは限りません。その製品または資料のどちらかで選択言語が利用できない場合は、システムがデフォルトとして英語を使用します。英語以外の言語を選択しても、追加して英語がインストールされます。

前提ソフトウェアのインストール

前提ソフトウェアとエンタープライズ・サーチをインストールする前に、すべての必要なオペレーティング・システムの更新、PTF、またはサービス・パックをインストールする必要があります。

前提ソフトウェアがまだインストールされていない場合は、インストール方法を決めなければなりません。前提ソフトウェアの一部またはすべてがすでにインストールされている場合は、ソフトウェアのバージョンがエンタープライズ・サーチでサポートされていることを確認してください。前提ソフトウェアとサポートされるオペレーティング・システムについての詳細は、1 ページの『第 1 章 エンタープライズ・サーチにサポートされるオペレーティング・システムと必須ソフトウェア』を参照してください。前提ソフトウェアがインストールされていない場合であっても、DB2 Information Integrator OmniFind Edition CD パッケージに前提ソフトウェアが準備されており、エンタープライズ・サーチ・インストール・プログラムを使用して、前提ソフトウェアをインストールできます。

インストール方式: グラフィカル、サイレント、およびテキスト・モード

エンタープライズ・サーチ・インストール・プログラムは、前提ソフトウェアをインストールします。DB2 Information Integrator OmniFind Edition と一緒に提供される前提ソフトウェアを、エンタープライズ・サーチ・インストール・プログラムを使用せずにインストールすることは避けてください。インストール中は、この CD を手元に準備しておくか、または CD イメージをご使用のシステムにコピーしておいてください。

パラメーター「-options -record *file_name*」を追加して、インストール中にユーザーが指定した情報を含むファイルを、インストール・プログラムが作成するように設定できます。このファイルを後で検討したり、マルチサーバー・インストールで索引サーバーをインストールするときに使用したりすることができます。

グラフィカル・インストール

これが標準的なインストール・オプションです。インストールを手動でステップスルーしてカスタマイズしたい場合は、このオプションを選択してください。

UNIX グラフィカル・インストール・プログラムを開始するには、DB2 Information Integrator OmniFind Edition CD をマウントして、実行可能ファイルを実行します。

Windows

グラフィカル・インストール・プログラムを開始するには、DB2 Information Integrator OmniFind Edition CD を挿入します。

サイレント・インストール

このオプションでは、テンプレート応答ファイルを編集し、次にインストール・プログラムがご使用のシステムをインストールし構成できるようにすることによって、エンタープライズ・サーチをインストールできます。応答ファイルのテンプレート (omnifind.rsp) は、CD のルート・ディレクトリーにあります。

制約事項: サイレント・インストールは、ユーザーに代わってライセンス条件に同意します。インストール中にライセンス条件を読みたい場合は、サイレント・インストールを使用しないでください。サイレント・インストールを実行するときは、パラメーター「-silent -options response_file_name」を使用します。ユーザー補助パラメーターはオプションです。

テキスト・モード・インストール

このオプションでは、コンソールからテキスト・モードでインストールを実行できます。画面はテキストで表示され、グラフィカル・インストールと同じ情報がプロンプトに表示されます。テキスト・モードでインストール・プログラムを開始するには、以下の手順を実行してください。

DB2 Information Integrator OmniFind Edition CD を挿入またはマウントして、実行可能ファイルを実行します。

Linux install-linux.bin -console

AIX install-aix.bin -console

Windows

install-win32_non_gui.exe -console

Windows からは、ユーザー補助モードでインストールを実行することもできます。次の実行可能ファイルを、ユーザー補助パラメーターを指定して実行してください。このコマンドによって、インストールがテキスト・モードで開始されます。install-win32_non_gui.exe -accessibility

DB2 Information Integrator インフォメーション・センター

エンタープライズ・サーチのインストールの間に、DB2 Information Integrator インフォメーション・センター (DB2 インフォメーション・センター) をインストールすることができます。マルチサーバー・インストールの場合は、DB2 インフォメーション・センターを検索サーバーにインストールするか、またはインストール・プログラムによってインストールします。DB2 インフォメーション・センター バージョン 8.2 は、DB2 Information Integrator OmniFind Edition CD と同梱して出荷されます。

DB2 インフォメーション・センターには、エンタープライズ・サーチの資料 (オンライン・ヘルプを含む) があります。DB2 インフォメーション・センターからは、エンタープライズ・サーチ・ライブラリーの他のトピックを読むことができます。DB2 Universal Database および DB2 Information Integrator から、トピックを読むこともできます。

重要: エンタープライズ・サーチのインストール中に、DB2 インフォメーション・センターのインストールを選択しなかった場合は、後でインストールすることはできません。十分なディスク・スペースがない場合を除き、DB2 インフォメーション・センターをインストールすることをお勧めします。

DB2 インフォメーション・センターをインストールしない場合でも、以下の IBM Web サイトからアクセスして表示することができます。

<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/db2help/index.jsp>

DB2 インフォメーション・センターがインストールされていない場合は、「ヘルプ」ボタンが IBM Web サイトの DB2 インフォメーション・センターにリンクします。

エンタープライズ・サーチのインストール・ディレクトリーとデータ・ディレクトリー

インストール・ディレクトリーには、システムの稼働中に変更されない実行可能ファイルおよびデフォルト・ファイルなどのファイルが含まれています。データ・ディレクトリーには、システムが定期的に更新する構成ファイルおよびデータ・ファイルが含まれています。

エンタープライズ・サーチの資料では、*ES_INSTALL_ROOT* がインストール・ディレクトリーで、*ES_NODE_ROOT* がデータ・ディレクトリーです。マルチサーバー・インストールをする場合は、すべてのサーバーに対して、同一のインストール・ディレクトリー・パス (*ES_INSTALL_ROOT*) を使用してください。ノード・ルート・ディレクトリー (*ES_NODE_ROOT*) は変更できます。ご使用のシステム上で最大のファイル区画またはディスク・スペースを、データ・ディレクトリー専用に使ってください。

エンタープライズ・サーチ管理者ユーザー ID とパスワード

エンタープライズ・サーチのユーザー ID とパスワードは、オペレーティング・システム上で有効なものでなければなりません。また、DB2 Universal Database にアクセスして構成する権限が必要です。

インストール中は、既存のユーザー ID とパスワードを入力するか、またはインストール・プログラムに作成させることができます。既存のユーザー ID とパスワードを使用する場合は、エンタープライズ・サーチ管理者が適切にシステムを実行できるように、インストール・プログラムが権限と特権を変更します。

エンタープライズ・サーチ管理者ユーザー ID とパスワードは、マルチサーバー・インストール環境では、各サーバー上で同一でなければなりません。

第 3 章 前提ソフトウェアのインストールの概要

エンタープライズ・サーチ・コンポーネントをインストールする前に、すべての前提ソフトウェア (フィックスパックを含む) をインストールして、構成します。

マルチサーバー・インストールの場合は、エンタープライズ・サーチ・サーバーのそれぞれに、前提ソフトウェアのサブセットをインストールします。各サーバーにインストールする前提ソフトウェアについては、17 ページの『第 5 章 マルチサーバー・インストールの概要』を参照してください。

DB2 Universal Database、WebSphere Application Server Network Deployment (アプリケーション・サーバー、IBM HTTP Server、および Deployment Manager を含む)、および DB2 Universal Database Run-time Client のインストールの詳細については、それらの製品 CD に含まれる資料を参照してください。

エンタープライズ・サーチは、DB2 Universal Database Enterprise Server (DB2 UDB ESE)、WebSphere Application Server Network Deployment (IBM HTTP Server、アプリケーション・サーバー、および Deployment Manager を含む) および DB2 Run-time Client と一緒にパッケージされています。このパッケージには、WebSphere Application Server Network Deployment のフィックスパックは含まれません。これらのフィックスパックをダウンロードする方法については、11 ページの『WebSphere Application Server Network Deployment フィックスパック 1 ソフトウェアをインストールする』を参照してください。DB2 UDB ESE、WebSphere、および DB2 Run-time Client をインストールするには、各製品の資料を参照してください。「エンタープライズ・サーチ インストール・ガイド」には、前提ソフトウェアをインストールする方法の説明はありません。

関連概念

『前提ソフトウェアのインストール』

前提ソフトウェアは、エンタープライズ・サーチ・インストール・プログラムを使用して、またはこのインストール・プログラムなしで、インストールできます。

関連タスク

11 ページの『WebSphere Application Server Network Deployment フィックスパック 1 ソフトウェアをインストールする』

エンタープライズ・サーチは、WebSphere Application Server Network Deployment バージョン 5.1.1 (バージョン 5.1 フィックスパック 1) のみをサポートします。

前提ソフトウェアのインストール

前提ソフトウェアは、エンタープライズ・サーチ・インストール・プログラムを使用して、またはこのインストール・プログラムなしで、インストールできます。

すべての前提ソフトウェアは、以下の方式のいずれかを使用することによって、インストールできます。

エンタープライズ・サーチ・インストール・プログラムを開始する前に、すべての前提ソフトウェアをインストールする。

エンタープライズ・サーチ・インストール・プログラムは、ご使用のシステムに適切な前提ソフトウェアがあるかどうかを検出します。

サイレント・インストール・プログラムを実行する。

応答ファイルのテンプレートに入力する必要があります。応答ファイルのテンプレート `omnifind.rsp` は、DB2 Information Integrator OmniFind Edition CD のルート・ディレクトリにあります。サイレント・インストールを使用して前提ソフトウェアをインストールしたい場合は、CD イメージが必要です。応答ファイルに指定したパスに誤りがあると、インストール・プログラムは指定されたソフトウェアをインストールしません。イメージは、適切なサーバーのディスクにコピーするか、または複数の CD ドライブを使用することによって作成できます。

エンタープライズ・サーチ・インストール・プログラムをグラフィカル・モードまたはテキスト・モードで実行する。

すべての前提ソフトウェア CD が揃っていることを確認してください。

WebSphere Application Server (ベース) フィックスパック 1 および WebSphere Application Server Network Deployment (ND) フィックスパック 1 をまだインストールしていない場合は、これらのフィックスパックをインストールする必要があります。これらのフィックスパックは、エンタープライズ・サーチ CD パッケージと一緒に提供されません。これらのフィックスパックのダウンロード方法に関する情報については、以下の説明を参照してください。

選択するインストール方式に関係なく、前提ソフトウェアは以下の順序でインストールされます。

1. DB2 Universal Database Enterprise Server Edition バージョン 8.2。マルチサーバー・インストールの場合は、DB2 UDB ESE サーバーをエンタープライズ・サーチ・クローラー・サーバーにインストールします。
2. DB2 UDB Run-time Client バージョン 8.2。マルチサーバー・インストールの場合は、DB2 Run-time Client をエンタープライズ・サーチ索引サーバーにインストールします。シングル・サーバー・インストールの場合は、DB2 UDB Run-time Client をインストールする必要がありません。
3. WebSphere Application Server バージョン 5.1。この製品には、アプリケーション・サーバーおよび IBM HTTP Server が含まれています。マルチサーバー・インストールの場合は、WebSphere Application Server ソフトウェアを 2 つの検索サーバーにインストールします。
4. WebSphere Application Server Network Deployment バージョン 5.1。この製品には、Deployment Manager が含まれています。マルチサーバー・インストールの場合は、WebSphere Application Server Network Deployment ソフトウェアを 2 つの検索サーバーにインストールします。
5. DB2 インフォメーション・センター。マルチサーバー・インストールの場合は、DB2 インフォメーション・センターを検索サーバーにインストールします。

エンタープライズ・サーチ・インストール・プログラムが前提ソフトウェアとエンタープライズ・サーチ・コンポーネントをインストールした後で、以下の WebSphere フィックスパックをインストールする必要があります。

- WebSphere Application Server (ベース) バージョン 5.1 フィックスパック 1。フィックスパック 1 をダウンロードするには、『WebSphere Application Server Network Deployment フィックスパック 1 ソフトウェアをインストールする』を参照してください。
- WebSphere Application Server Network Deployment (ND) バージョン 5.1 フィックスパック 1。フィックスパック 1 をダウンロードするには、『WebSphere Application Server Network Deployment フィックスパック 1 ソフトウェアをインストールする』を参照してください。

関連概念

9 ページの『第 3 章 前提ソフトウェアのインストールの概要』

エンタープライズ・サーチ・コンポーネントをインストールする前に、すべての前提ソフトウェア (フィックスパックを含む) をインストールして、構成します。

関連タスク

『WebSphere Application Server Network Deployment フィックスパック 1 ソフトウェアをインストールする』

エンタープライズ・サーチは、WebSphere Application Server Network Deployment バージョン 5.1.1 (バージョン 5.1 フィックスパック 1) のみをサポートします。

WebSphere Application Server Network Deployment フィックスパック 1 ソフトウェアをインストールする

エンタープライズ・サーチは、WebSphere Application Server Network Deployment バージョン 5.1.1 (バージョン 5.1 フィックスパック 1) のみをサポートします。

前提条件

ご使用のシステムに、WebSphere Application Server Network Deployment バージョン 5.1 ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。このソフトウェアには、アプリケーション・サーバー、HTTP サーバー、および Deployment Manager が含まれています。インストールを開始する前に、フィックスパックの前提条件、リリース・ノート、および READ ME ファイルをお読みください。

手順

2 つのフィックスパック、ベース・プロダクト (ベース) 用に 1 つと Network Deployment (ND) 用に 1 つをインストールする必要があります。マルチサーバー・インストールの場合は、フィックスパックを両方の検索サーバーにインストールします。フィックスパックをインストールするには、それらのフィックスパックを WebSphere Application Server Web サイトからダウンロードする必要があります。ベースおよび ND 用のフィックスパック 1 をインストールするには、以下の手順を実行してください。

1. ベース用のフィックスパック 1 をダウンロードする。

- a. Web サイト www.ibm.com/software/webservers/appserv/was/support/ にアクセスする。
 - b. 「Downloads」の下にある「**WebSphere Application Server 5.1 Fix Pack 1 (5.1.1)**」をクリックする。
 - c. ベース・プロダクト (WebSphere Application Server) 用のフィックスパック 1 をダウンロードする。「Download package」の表で、ベース・プロダクトのオペレーティング・システムを選択して、ZIP ファイルまたは TAR ファイルをダウンロードします。たとえば、AIX の場合は、「**AIX Base**」を選択します。
 - d. WebSphere Application Server Network Deployment ソフトウェアをインストールした同一のサーバー上に、フィックスパックをインストールする。マルチサーバー・インストールの場合は、フィックスパックをそれぞれの検索サーバーにインストールします。
2. ND 用のフィックスパック 1 をダウンロードする。
 - a. Web サイト www.ibm.com/software/webservers/appserv/was/support/ にアクセスする。
 - b. 「Downloads」の下にある「**WebSphere Application Server 5.1 Fix Pack 1 (5.1.1)**」をクリックする。
 - c. Network Deployment 用のフィックスパック 1 をダウンロードする。
「Download package」の表で、Network Deployment のオペレーティング・システムを選択して、ZIP ファイルまたは TAR ファイルをダウンロードします。たとえば、AIX の場合は、「**AIX ND**」を選択します。WebSphere Application Server Network Deployment をインストールした同一のサーバー上に、フィックスパックをインストールします。
 - d. WebSphere Application Server Network Deployment ソフトウェアをインストールした同一のサーバー上に、フィックスパックをインストールする。マルチサーバー・インストールの場合は、フィックスパックをそれぞれの検索サーバーにインストールします。

関連概念

9 ページの『第 3 章 前提ソフトウェアのインストールの概要』

エンタープライズ・サーチ・コンポーネントをインストールする前に、すべての前提ソフトウェア (フィックスパックを含む) をインストールして、構成します。

9 ページの『前提ソフトウェアのインストール』

前提ソフトウェアは、エンタープライズ・サーチ・インストール・プログラムを使用して、またはこのインストール・プログラムなしで、インストールできます。

第 4 章 シングル・サーバー・インストールの概要

シングル・サーバー・インストールの場合は、すべての前提ソフトウェアとエンタープライズ・サーチを 1 つのサーバーにインストールします。

DB2 Universal Database、DB2 インフォメーション・センター、WebSphere Application Server Network Deployment (アプリケーション・サーバー、HTTP サーバー、および Deployment Manager を含む) を、ユーザーが手動でインストールしたい場合 (または、これらの製品がすでにインストール済みの場合) を除いて、これらはエンタープライズ・サーチ・インストール・プログラムによってインストールされます。エンタープライズ・サーチ・インストール・プログラムを実行した後で、WebSphere フィックスパックをインストールして、Domino または Content Manager スクリプトを実行することができます。インストール・プログラムは、これらのフィックスパックまたはスクリプトをインストールしません。

Lotus Notes[®] データベースまたは DB2 Content Manager データベースからデータをクローलする計画である場合は、それらのデータ・ソースにエンタープライズ・サーチ・システムを接続するように構成する必要があります。インフォメーション・センターまたは「エンタープライズ・サーチの管理」で、『Notes クローラー』のトピックを参照してください。あるいは、インフォメーション・センターまたは「エンタープライズ・サーチの管理」で、『Content Manager クローラー』のトピックを参照してください。

シングル・サーバー上でエンタープライズ・サーチをインストールするには、ソフトウェアを以下の順序でインストールして構成するか、またはインストール・プログラムによってソフトウェアをインストールする必要があります。

1. DB2 Universal Database Enterprise Edition バージョン 8.2。インストール方法の説明については、DB2 Universal Database CD にある資料を参照してください。
2. DB2 Universal Database Information Center バージョン 8.2。インストール方法の説明については、DB2 Universal Database インフォメーション・センター CD にある資料を参照してください。
3. WebSphere Application Server バージョン 5.1。インストール方法の説明については、WebSphere CD にある資料を参照してください。
4. WebSphere Application Server Deployment Manager バージョン 5.1。インストール方法の説明については、WebSphere CD にある資料を参照してください。
5. エンタープライズ・サーチ・コンポーネント。15 ページの『エンタープライズ・サーチをシングル・サーバーにインストールする』を参照してください。
6. WebSphere Application Server バージョン 5.1 (ベース) フィックスパック 1。フィックスパックをダウンロードするには、11 ページの『WebSphere Application Server Network Deployment フィックスパック 1 ソフトウェアをインストールする』を参照してください。フィックスパックのインストールについての詳細は、WebSphere の資料を参照してください。
7. WebSphere Application Server Network Deployment バージョン 5.1 (ND) フィックスパック 1。フィックスパックをダウンロードするには、11 ページの

『WebSphere Application Server Network Deployment フィックスパック 1 ソフトウェアをインストールする』を参照してください。フィックスパックのインストールについての詳細は、WebSphere の資料を参照してください。

スクリプト IBM Lotus Domino をインストールして、Domino データまたは DB2 Content Manager のスクリプトをクローリングすることもできます。DB2 インフォメーション・センターまたは「エンタープライズ・サーチの管理」で、『Notes クローラー』または『Content Manager クローラー』のトピックを参照してください。スクリプトは、DB2 Information Integrator OmniFind Edition CD で提供されています。

次の図は、エンタープライズ・サーチ・サーバーにインストールされる前提ソフトウェアを示します。



エンタープライズ・サーチ・サーバー

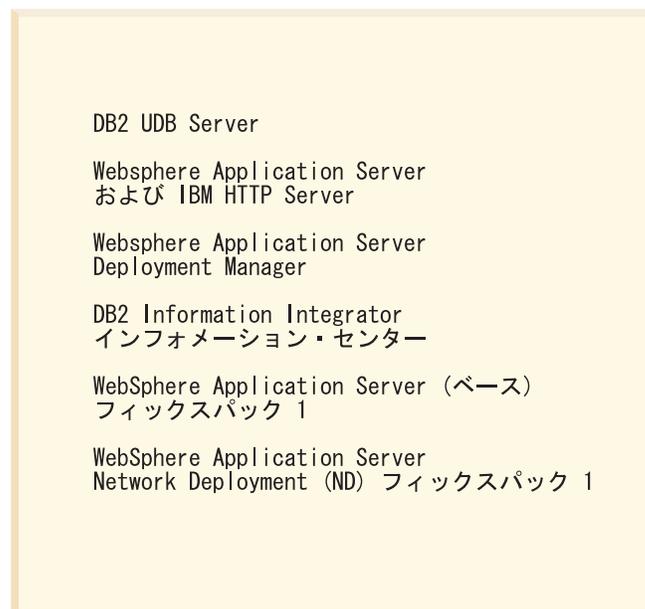


図 1. シングル・サーバー構成のソフトウェア・コンポーネント

関連タスク

15 ページの『エンタープライズ・サーチをシングル・サーバーにインストールする』

インストール・ランチパッドを使用して、エンタープライズ・サーチを 1 つのサーバーにインストールします。

関連資料

1 ページの『第 1 章 エンタープライズ・サーチにサポートされるオペレーティング・システムと必須ソフトウェア』

エンタープライズ・サーチをインストールする前に、ハードウェア要件およびソフトウェア要件に適合していることを確認してください。

エンタープライズ・サーチをシングル・サーバーにインストールする

インストール・ランチパッドを使用して、エンタープライズ・サーチを 1 つのサーバーにインストールします。

前提条件

エンタープライズ・サーチをインストールする前に、ご使用のオペレーティング・システムが適切で、サポートされているレベルであることを確認してください。インストールを開始する前に、13 ページの『第 4 章 シングル・サーバー・インストールの概要』をお読みください。

手順

エンタープライズ・サーチをシングル・サーバーにインストールするには、以下の手順を実行してください。

1. エンタープライズ・サーチのインストール・ランチパッドを開始する。

Linux root ユーザーとしてログインし、「./install-linux.bin」と入力します。

AIX root ユーザーとしてログインし、「./install-aix.bin」と入力します。

Windows

管理者権限が必要です。ファイル install-win32.exe をダブルクリックするか、または「install-win32.exe」と入力します。

2. インストール・ランチパッドから、「製品のインストール」をクリックする。
3. プロンプトが表示されたら、「シングル・サーバー構成」を選択する。
4. エンタープライズ・サーチ管理者ユーザー ID を入力する。(本書の例では、「esadmin」を使用しています。) パスワードを入力してください。
5. 残りのプロンプトに応答する。
6. サマリー・ウィンドウから構成を検討して、「次へ」をクリックする。
7. インストールが正常終了したことを表示しているウィンドウから、「完了」をクリックする。ファースト・ステップ・プログラムを開始できます。ファースト・ステップでは、インストールの検証、エンタープライズ・サーチの開始、または文書の検討を行うことができます。
8. DB2 インフォメーション・センターをインストールした場合は、デーモンまたはサービスを停止して再始動する。インフォメーション・センターを使用するたびに、デーモンを停止して再始動する必要はありません。エンタープライズ・サーチをインストールした後、最初にインフォメーション・センターを実行する前に行ってください。

UNIX デーモンを再始動します。「db2icd restart」と入力します。次に、DB2 インフォメーション・センターを開始します。「db2icdocs」と入力します。

Windows

「Windows サービス」ウィンドウ内の「DB2 Information Center Server」サービスを停止して、再始動します。次に、DB2 インフォメーション・センターを開始します。デスクトップから、「スタート」→

「プログラム」 → 「IBM DB2 インフォメーション・センター」 → 「インフォメーション・センター」をクリックします。

Lotus Notes データベースをクローリングしたい場合は、Domino Notes データベースをクローリングするためのエンタープライズ・サーチを構成する Lotus Domino スクリプトを実行できます。インフォメーション・センターまたは「エンタープライズ・サーチの管理」で、『Notes クローラー』のトピックを参照してください。DB2 Content Manager 用のスクリプトを実行することもできます。インフォメーション・センターまたは「エンタープライズ・サーチの管理」で、『Content Manager クローラー』のトピックを参照してください。

関連概念

13 ページの『第 4 章 シングル・サーバー・インストールの概要』
シングル・サーバー・インストールの場合は、すべての前提ソフトウェアとエンタープライズ・サーチを 1 つのサーバーにインストールします。

関連資料

1 ページの『第 1 章 エンタープライズ・サーチにサポートされるオペレーティング・システムと必須ソフトウェア』
エンタープライズ・サーチをインストールする前に、ハードウェア要件およびソフトウェア要件に適合していることを確認してください。

第 5 章 マルチサーバー・インストールの概要

エンタープライズ・サーチは、4 つの分散サーバーにインストールできます。

DB2 Universal Database、DB2 インフォメーション・センター、WebSphere Application Server、HTTP サーバー、および WebSphere Application Server を、ユーザーが手動でインストールしたい場合（または、これらの製品がすでにインストール済みの場合）を除いて、これらはエンタープライズ・サーチ・インストール・プログラムによってインストールされます。エンタープライズ・サーチ・インストール・プログラムを実行した後で、WebSphere Application Server フィックスパックをインストールして、Domino または Content Manager スクリプトを実行することができます。インストール・プログラムは、これらのスクリプトをインストールしません。

必須ソフトウェアについての詳細は、1 ページの『第 1 章 エンタープライズ・サーチにサポートされるオペレーティング・システムと必須ソフトウェア』を参照するか、あるいは `iiysr.htm` または `iiysr.txt` と呼ばれるファイルを開いてください。このファイルは、DB2 Information Integrator OmniFind Edition CD イメージのルート・ディレクトリーにあります。

マルチサーバー構成の場合は、エンタープライズ・サーチのさまざまなコンポーネントを、どのサーバーが実行するかを指定します。エンタープライズ・サーチの主要なコンポーネントは、以下のとおりです。

- クローラー
- 検索 (2 つの検索サーバー)
- 索引

次の図は、マルチサーバー構成での 4 つのサーバーとそれらのコンポーネントを示します。

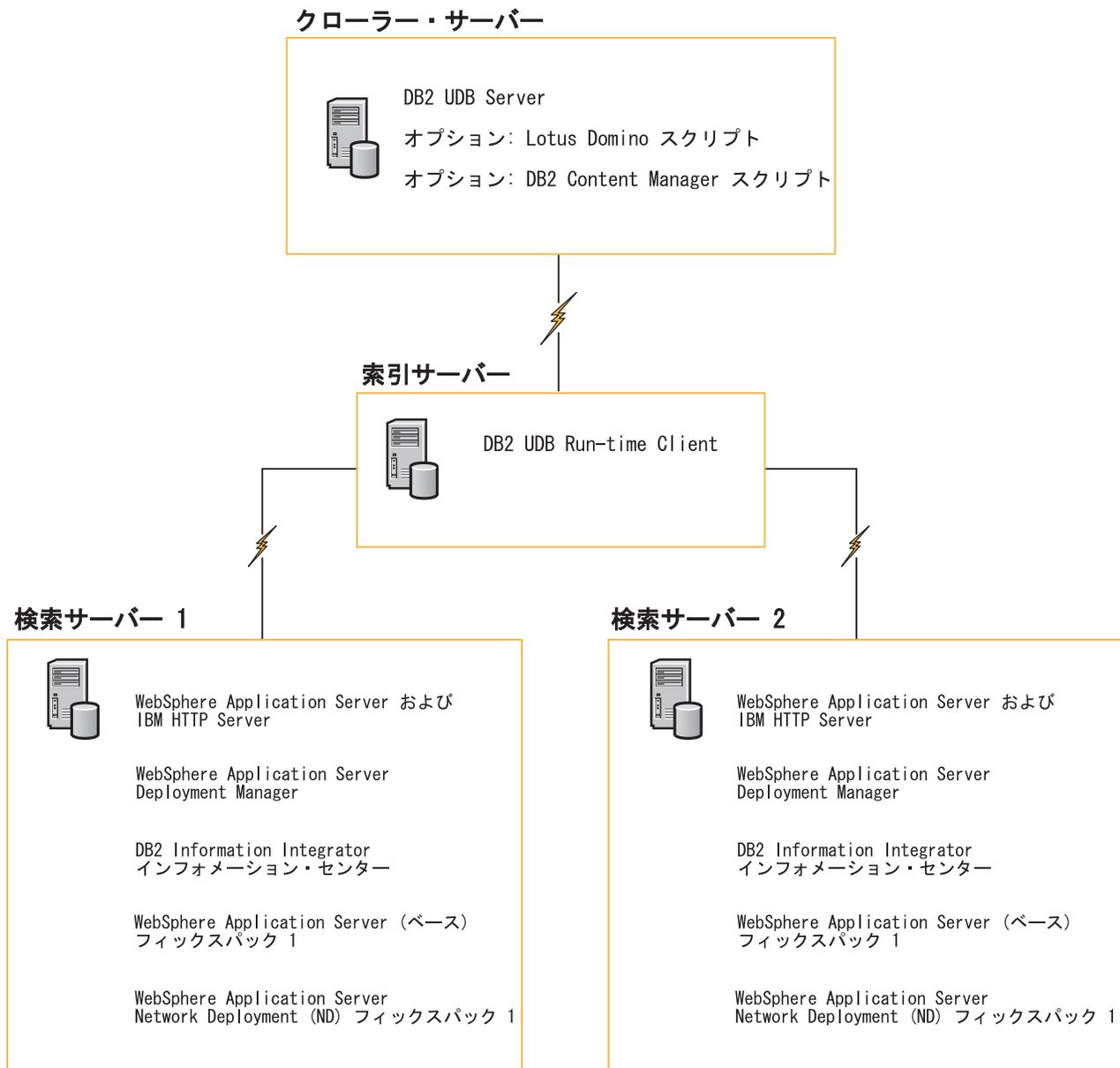


図 2. 4 つのエンタープライズ・サーチ・サーバーとソフトウェア・コンポーネント

エンタープライズ・サーチ・システムの各サーバーは、そのコンポーネント名によって参照されます。たとえば、クローラー・コンポーネントがサーバーにインストールされると、そのサーバーはクローラー・サーバーと呼ばれます。

マルチサーバー構成の場合は、索引サーバーがコントロール・サーバーとして機能します。索引コンポーネントをインストールするときには、他のサーバーのホスト名とポートが必要になるため、索引サーバーは最後にインストールする必要があります。また、サーバーをすべてインストールするまでは、システム・サービスを開始できません。

エンタープライズ・サーチ・サーバーは、以下の推奨される順序でインストールして構成するか、またはエンタープライズ・サーチ・インストール・プログラムによってソフトウェアをインストールします。

クローラー・サーバー

1. DB2 Universal Database Enterprise Server Edition バージョン 8.2
2. エンタープライズ・サーチのクローラー・コンポーネント
3. オプション: IBM Lotus Domino スクリプト
4. オプション: DB2 Content Manager スクリプト

検索サーバー 1

1. DB2 インフォメーション・センター
2. WebSphere Application Server (アプリケーション・サーバーと IBM HTTP Server を含む)
3. WebSphere Application Server Network Deployment バージョン 5.1 (Deployment Manager を含む)
4. エンタープライズ・サーチの検索コンポーネント
5. WebSphere Application Server バージョン 5.1 (ベース) フィックスパック 1
6. Network Deployment バージョン 5.1 (ND) フィックスパック 1

検索サーバー 2

1. DB2 インフォメーション・センター
2. WebSphere Application Server (アプリケーション・サーバーと IBM HTTP Server を含む)
3. WebSphere Application Server Network Deployment バージョン 5.1 (Deployment Manager を含む)
4. エンタープライズ・サーチの検索コンポーネント
5. WebSphere Application Server バージョン 5.1 (ベース) フィックスパック 1
6. Network Deployment バージョン 5.1 (ND) フィックスパック 1

索引サーバー

1. DB2 UDB Run-time Client バージョン 8.2
2. エンタープライズ・サーチの索引コンポーネント

ご使用のシステムに前提ソフトウェアのすべてまたは一部がすでにインストール済みであっても、これらの前提ソフトウェアが適切なエンタープライズ・サーチ・サーバーにインストールされていることを確認する必要があります。DB2 UDB または WebSphere Application Server のリモート・インスタンスへの接続は、サポートされていません。

関連タスク

20 ページの『エンタープライズ・サーチをマルチサーバーにインストールする』

エンタープライズ・サーチ・コンポーネントを 4 つの異なるサーバーにインストールします。マルチサーバー・インストールは、この方式しかサポートされていません。

エンタープライズ・サーチをマルチサーバーにインストールする

エンタープライズ・サーチ・コンポーネントを 4 つの異なるサーバーにインストールします。マルチサーバー・インストールは、この方式しかサポートされていません。

次の図は、前提ソフトウェアとエンタープライズ・サーチ・コンポーネントのインストール時に、守らなければならないインストールの順序を示しています。



図 3. 4 つのエンタープライズ・サーチ・サーバーとソフトウェア・コンポーネント

エンタープライズ・サーチ・サーバーは、以下の順序でインストールしてください。

関連概念

17 ページの『第 5 章 マルチサーバー・インストールの概要』
エンタープライズ・サーチは、4 つの分散サーバーにインストールできます。

エンタープライズ・サーチのクローラー・コンポーネントをインストールする

マルチサーバー構成の場合は、クローラー・コンポーネントを DB2 Universal Database と同じサーバーにインストールする必要があります。

手順

それぞれのプロンプトごとに指定する必要がある情報については、17 ページの『第 5 章 マルチサーバー・インストールの概要』を参照してください。表示されるプロンプトは、ご使用のシステムが現在どのように構成されているかによって異なります。

クローラー・コンポーネントをインストールするには、以下の手順を実行してください。

1. エンタープライズ・サーチのインストール・ランチパッドを開始する。

Linux root ユーザーとしてログインし、「./install-linux.bin」と入力します。

AIX root ユーザーとしてログインし、「./install-aix.bin」と入力します。

Windows

管理者権限が必要です。ファイル `install-win32.exe` をダブルクリックするか、または「install-win32.exe」と入力します。

2. インストール・ランチパッドから、「製品のインストール」をクリックする。
3. プロンプトが表示されたら、「マルチサーバー構成」を選択する。
4. クローラー・サーバーを選択する。必要な場合、すべての他の選択を消去します。
5. 以下の情報を該当するフィールドで指定する。インストール中に表示されるプロンプトは、ご使用のシステム構成によって異なる場合があります。
 - エンタープライズ・サーチ管理者ユーザー ID とパスワード。この管理者ユーザー ID とパスワードは、すべてのエンタープライズ・サーチ・サーバー上で同一でなければなりません。
 - インストール・ディレクトリーとデータ・ディレクトリーの絶対パス。データ・ディレクトリー・パスを記録します。この情報は、索引サーバーをインストールするときに必要です。
 - クローラー・サーバーのホスト名とポート。ホスト名とポートを記録します。この情報は、索引サーバーをインストールするときに必要です。
6. 設定値を検証し、「次へ」をクリックして、インストールを開始する。
7. ウィンドウにインストールが正常終了したことが表示されている場合は、「完了」をクリックする。ファースト・ステップ・プログラムを開始できます。ファースト・ステップでは、インストールの検証、エンタープライズ・サーチの開始、または文書の検討を行うことができます。

Lotus Notes または DB2 Content Manager からデータをクロールする計画である場合は、それらのデータ・ソースにエンタープライズ・サーチ・システムを接続するように構成する必要があります。インフォメーション・センターまたは「エンタープライズ・サーチの管理」で、『Notes クローラー』のトピックを参照してください。あるいは、インフォメーション・センターまたは「エンタープライズ・サーチの管理」で、『Content Manager クローラー』のトピックを参照してください。

エンタープライズ・サーチの検索コンポーネントをインストールする

エンタープライズ・サーチの検索コンポーネントを、WebSphere Application Server および WebSphere Application Server Network Deployment と同じサーバーにインストールします。

マルチサーバー・システムの場合は、2 つの検索サーバーをインストールして構成します。それぞれの検索サーバーは、同じようにインストールされ、構成される必要があります。インストール中に表示されるプロンプトは、ご使用のシステムが現在どのように構成されているかによって異なります。

手順

検索コンポーネントをインストールするには、以下の手順を実行してください。

1. エンタープライズ・サーチのインストール・ランチパッドを開始する。

Linux root ユーザーとしてログインし、「./install-linux.bin」と入力します。

AIX root ユーザーとしてログインし、「./install-aix.bin」と入力します。

Windows

管理者権限が必要です。ファイル `install-win32.exe` をダブルクリックするか、または「`install-win32.exe`」と入力します。

2. インストール・ランチパッドから、「製品のインストール」をクリックする。
3. プロンプトが表示されたら、「マルチサーバー構成」を選択する。
4. 検索サーバーを選択する。必要な場合、すべての他の選択を消去します。
5. 以下の情報を該当するフィールドで指定する。インストール中に表示されるプロンプトは、ご使用のシステム構成によって異なる場合があります。
 - エンタープライズ・サーチ管理者ユーザー ID とパスワード。この管理者ユーザー ID とパスワードは、すべてのエンタープライズ・サーチ・サーバー上で同一でなければなりません。
 - インストール・ディレクトリーとデータ・ディレクトリーの絶対パス。データ・ディレクトリー・パスを記録します。この情報は、索引サーバーをインストールするときに必要です。
 - 検索サーバーのホスト名とポート。ホスト名とポートを記録します。この情報は、索引サーバーをインストールするときに必要です。
6. 設定値を検証し、「次へ」をクリックして、インストールを開始する。
7. ウィンドウにインストールが正常終了したことが表示されている場合は、「完了」をクリックする。ファースト・ステップ・プログラムを開始できます。フ

ファースト・ステップでは、インストールの検証、エンタープライズ・サーチの開始、または文書の検討を行うことができます。

8. DB2 インフォメーション・センターをインストールした場合は、デーモンまたはサービスを停止して再始動する。インフォメーション・センターを使用するたびに、デーモンを停止して再始動する必要はありません。エンタープライズ・サーチをインストールした後、最初にインフォメーション・センターを実行する前に、デーモンまたはサービスを停止して再始動します。

UNIX デーモンを再始動します。「db2icd restart」と入力します。次に、DB2 インフォメーション・センターを開始します。「db2icdocs」と入力します。

Windows

「Windows サービス」ウィンドウ内の「DB2 Information Center Server」サービスを停止して、再始動します。次に、DB2 インフォメーション・センターを開始します。デスクトップから、「スタート」 → 「プログラム」 → 「IBM DB2 インフォメーション・センター」 → 「インフォメーション・センター」をクリックします。

2 番目の検索サーバーについても、この手順を繰り返します。

エンタープライズ・サーチの索引コンポーネントをインストールする

索引コンポーネントを DB2 UDB Run-time Client と同じサーバーにインストールします。

索引コンポーネントをインストールするときには、クローラー、検索サーバー、および索引サーバーに関する情報を準備しておく必要があります。インストール中に表示されるプロンプトは、ご使用のシステムが現在どのように構成されているかによって異なります。

手順

索引コンポーネントをインストールするには、以下の手順を実行してください。

1. エンタープライズ・サーチのインストール・ランチパッドを開始する。

Linux root ユーザーとしてログインし、「./install-linux.bin」と入力します。

AIX root ユーザーとしてログインし、「./install-aix.bin」と入力します。

Windows

管理者権限が必要です。ファイル install-win32.exe をダブルクリックするか、または「install-win32.exe」と入力します。

2. インストール・ランチパッドから、「製品のインストール」をクリックする。
3. プロンプトが表示されたら、「マルチサーバー構成」を選択する。
4. 索引サーバーを選択する。必要な場合、すべての他の選択を消去します。
5. 以下の情報を該当するフィールドで指定する。インストール中に表示されるプロンプトは、ご使用のシステム構成によって異なる場合があります。

- エンタープライズ・サーチ管理者ユーザー ID とパスワード。この管理者ユーザー ID とパスワードは、すべてのエンタープライズ・サーチ・サーバー上で同一でなければなりません。
 - インストール・ディレクトリーとデータ・ディレクトリーの絶対パス。
 - クローラー・サーバーのホスト名とポート。
 - クローラー・サーバーのデータ・ディレクトリー。
 - 検索サーバーのホスト名とポート。
 - 各検索サーバーのデータ・ディレクトリー。
 - 索引 (コントローラー) サーバーのホスト名とポート。
 - リモート・ポート、データベース名、ローカル・データベース名、ローカル・ノード名 (デフォルト・ノード名は `esnode`)、および DB2 インスタンス名 (DB2 UDB をクローラー・サーバーにインストールしたときに使用したもの)。DB2 UDB Run-time Client をクローラー・サーバー上の DB2 サーバー・データベースに接続するために、インストール・プログラムは、データベースに関連した DB2 サーバー名を登録またはカタログします。
6. 設定値を検証し、「次へ」をクリックして、インストールを開始する。
 7. ウィンドウにインストールが正常終了したことが表示されている場合は、「完了」をクリックする。ファースト・ステップ・プログラムを開始できます。ファースト・ステップでは、インストールの検証、エンタープライズ・サーチの開始、または文書の検討を行うことができます。

第 6 章 インストール後の作業

エンタープライズ・サーチをインストールした後で、システムとインフォメーション・センターを手動で始動する、またはインストール・プログラムに始動させることができます。エンタープライズ・サーチをアンインストールすることもできます。

ファースト・ステップを開始する

エンタープライズ・サーチをインストールした後で、ファースト・ステップ・プログラムを使用して、インストールの検証、文書のオープン、またはシステムの始動を行うことができます。ファースト・ステップは、インストール・プログラムの最後のウィンドウでチェック・ボックスを選択するか、または手動で開始することができます。

手順

UNIX 上でファースト・ステップを手動で開始するには、エンタープライズ・サーチ管理者としてログオンし、次のように入力してください。

```
export DISPLAY=display_server_host_name:0.0
firststep.sh
```

Windows 上でファースト・ステップを手動で開始するには、「スタート」メニューから「ファースト・ステップ」ショートカットをクリックするか、または *ES_INSTALL_ROOT* ディレクトリー内の実行可能ファイル「firststeps.bat」をダブルクリックしてください。

Linux および AIX 上でエンタープライズ・サーチを開始する

マルチサーバー・インストールの場合は、エンタープライズ・サーチ・システムを索引サーバーから開始します。

前提条件

エンタープライズ・サーチを開始する前に、WebSphere Application Server Network Deployment が稼働中であることを確認してください。マルチサーバー構成の場合は、WebSphere Application Server および HTTP サーバーが両方の検索サーバー上で稼働中であることを確認してください。

手順

管理コンソールを使用してコレクションを作成できるようにするために、いくつかのプロセスを開始する必要があります。これらのプロセスを開始するには、以下の手順を実行してください。

1. IBM HTTP Server がまだ稼働中でない場合は、開始する。
 - a. ディレクトリーを `/opt/IBMhttpServer/bin/` に変更する
 - b. 「`./apachectl start`」を入力する

2. アプリケーション・サーバー、エンタープライズ・サーチ・アプリケーション、および Deployment Manager がまだ稼働中でない場合は、開始する。
 - a. ディレクトリーを /opt/WebSphere/DeploymentManager/bin に変更する
 - b. 「./startManager.sh」と入力する
 - c. ディレクトリーを /opt/WebSphere/AppServer/bin に変更する
 - d. 「./startNode.sh」と入力する
 - e. ディレクトリーを cd /opt/WebSphere/AppServer/bin に変更する
 - f. 「./startServer.sh ESSearchServer」と入力する
 - g. 「./startServer.sh server1」と入力する
3. 索引サーバーにエンタープライズ・サーチ管理者としてログインし、コマンド `esadmin start` を入力してエンタープライズ・サーチを開始する。
4. ブラウザーを開き、URL `http://hostname/ESAdmin` を入力して、エンタープライズ・サーチ管理コンソールを開始する。ここで、*hostname* は検索サーバーのいずれかのホスト名です。
5. エンタープライズ・サーチ管理ユーザーとして、エンタープライズ・サーチ管理コンソールにログインする。

これでエンタープライズ・サーチ管理コンソールを使用できるようになりました。管理コンソールの使用についての詳細は、オンライン・ヘルプを参照してください。コレクションの作成と保守についての一般情報は、「エンタープライズ・サーチの管理」を参照してください。この資料を表示するには、インフォメーション・センターを開始するか、またはディレクトリー `ES_INSTALL_ROOT/docs/en_US/pdf` を表示して、ファイル `iiysa.pdf` を開きます。

Windows 上のエンタープライズ・サーチを開始する

マルチサーバー・インストールの場合は、エンタープライズ・サーチ・システムを索引サーバーから開始します。ファースト・ステップから、または手動で開始することができます。

前提条件

エンタープライズ・サーチを開始する前に、WebSphere Application Server および HTTP サーバーが稼働中であることを確認してください。マルチサーバー構成の場合は、WebSphere Application Server および HTTP サーバーが両方の検索サーバー上で稼働中であることを確認してください。

管理コンソールを使用してコレクションを作成できるようにするために、いくつかのプロセスがバックグラウンド・サービスとしてすでに稼働中でない場合は、それらのプロセスを開始する必要があります。必要なプロセスが稼働中でない場合は、「スタート」メニューから、またはコマンド行から開始することができます。

手順

これらのプロセスを開始するには、以下の手順を実行してください。

1. IBM HTTP Server がまだ稼働中でない場合は、開始する。
 - a. ディレクトリーを `IBMHttpServer/bin/` に変更する

- b. 「apache.exe」と入力する
2. アプリケーション・サーバー、エンタープライズ・サーチ・アプリケーション、および Deployment Manager がまだ稼働中でない場合は、コマンド行から開始する。
 - a. ディレクトリーを WebSphere/DeploymentManager/bin に変更する
 - b. 「startManager」と入力する
 - c. ディレクトリーを WebSphere/AppServer/bin に変更する
 - d. 「startNode」と入力する
 - e. ディレクトリーを WebSphere/AppServer/bin に変更する
 - f. 「startServer ESSearchServer」と入力する
 - g. 「startServer server1」と入力する
3. 索引サーバーにエンタープライズ・サーチ管理者としてログインし、コマンド `esadmin start` を入力してエンタープライズ・サーチを開始する。
4. ブラウザーを開き、URL `http://hostname/ESAdmin` を入力して、エンタープライズ・サーチ管理コンソールを開始する。ここで、*hostname* は検索サーバーのいずれかのホスト名です。
5. エンタープライズ・サーチ管理ユーザーとして、エンタープライズ・サーチ管理コンソールにログインする。

これでエンタープライズ・サーチ管理コンソールを使用できるようになりました。管理コンソールの使用についての詳細は、オンライン・ヘルプを参照してください。コレクションの作成と保守についての一般情報は、「エンタープライズ・サーチの管理」を参照してください。この資料を表示するには、インフォメーション・センターを開始するか、またはディレクトリー `ES_INSTALL_ROOT/docs/en_US/pdf` を表示して、ファイル `iiysa.pdf` を開きます。

インフォメーション・センターを開始する

DB2 インフォメーション・センターには、エンタープライズ・サーチのすべての資料が含まれています。

エンタープライズ・サーチ管理コンソールで「ヘルプ」ボタンをクリックすると、インフォメーション・センターが開始します。「ヘルプ」ボタンをクリックせずにインフォメーション・センターを開始する方法は、以下の手順を参照してください。インフォメーション・センターの開始、停止、またはカスタマイズについての詳細は、インフォメーション・センターの構成の資料にあるトピック『DB2 インフォメーション・センターの起動』を参照してください。

手順

エンタープライズ・サーチをインストールした後で、インフォメーション・センターのデーモンまたはサービスを停止して、再始動する必要があります。次に、インフォメーション・センターを開始して、資料を表示します。デーモンまたはサービスを停止して再始動し、DB2 インフォメーション・センターを開始するには、以下の手順を実行してください。

UNIX デーモンを再始動します。「db2icd restart」と入力します。次に、DB2 インフォメーション・センターを開始します。「db2icdocs」と入力します。

Windows

「Windows サービス」ウィンドウ内の「DB2 Information Center Server」サービスを停止して、再始動します。次に、DB2 インフォメーション・センターを開始します。デスクトップから、「スタート」→「プログラム」→「IBM DB2 インフォメーション・センター」→「インフォメーション・センター」をクリックします。

エンタープライズ・サーチの資料

DB2 Information Integrator OmniFind Edition (エンタープライズ・サーチ) の資料は、PDF または HTML の形式で読むことができます。HTML のトピックを表示するには、DB2 インフォメーション・センターを開始してください。

DB2 インフォメーション・センターをインストールしてから、次に、エンタープライズ・サーチ・コンポーネントをインストールする必要があります。エンタープライズ・サーチのインストール後に、インフォメーション・センターを開始するには、27 ページの『インフォメーション・センターを開始する』を参照してください。PDF の資料は、docs/locale/pdf にあります。たとえば、英語版の資料を検索する場合は、docs/en_US/pdf にあります。

以下の資料のファイルを表示することができます。

資料	ファイル名	場所
エンタープライズ・サーチ インストール・ガイド (この資料のトピックは、インフォメーション・センターにもありません)	iiysi.pdf	docs/locale/pdf
エンタープライズ・サーチの管理 (この資料のトピックは、インフォメーション・センターにもありません。)	iiysa.pdf	docs/locale/pdf
エンタープライズ・サーチ プログラミング・ガイドおよび API リファレンス (この資料のトピックは、インフォメーション・センターにもありません。)	iiysp.pdf	docs/locale/pdf
DB2 Information Integrator OmniFind Edition インストール要件 (この資料のトピックは、インフォメーション・センターにもありません。)	iiysr.txt または iiysr.htm	CD のルート・ディレクトリー (このファイルは、ファースト・ステップ・プログラムからも起動できます)
DB2 Information Integrator OmniFind Edition リリース・ノート	iiysr.pdf または iiysr.htm	CD のルート・ディレクトリー または IBM Support Web サイト

関連資料

2 ページの『エンタープライズ・サーチのハードウェア要件とディスク・スペース所要量』

ハードウェア要件は、ご使用のオペレーティング・システムとエンタープライズ・サーチの使用目的によって決まります。

1 ページの『第 1 章 エンタープライズ・サーチにサポートされるオペレーティング・システムと必須ソフトウェア』

エンタープライズ・サーチをインストールする前に、ハードウェア要件およびソフトウェア要件に適合していることを確認してください。

Linux および AIX 上のエンタープライズ・サーチをアンインストールする

アンインストール・プログラムは、WebSphere Application Server の Web アプリケーションを含むエンタープライズ・サーチ・コンポーネントを除去します。

エンタープライズ・サーチ・コンポーネントを除去すると、エンタープライズ・サーチの資料も除去されます。

手順

エンタープライズ・サーチと検索アプリケーションをアンインストールするには、以下の手順を実行してください。

1. root ユーザーとしてログインする。
2. インストール・ディレクトリー (*ES_INSTALL_ROOT*) 内で、ディレクトリーを *_uninst* ディレクトリーに変更する。
3. 「./uninstall.bin」と入力して、アンインストール・プログラムを開始する。
4. 「次へ」をクリックして、エンタープライズ・サーチをアンインストールする。
5. オプション: エンタープライズ・サーチのデータ・ディレクトリー (*ES_NODE_ROOT*) を除去する。アンインストール・プログラムは、データ・ディレクトリーを除去しません。クローलしたデータが *ES_NODE_ROOT* 内に保管されている場合は、このディレクトリーを削除すると、すべてのエンタープライズ・サーチ・コレクション・データも削除されます。
6. エンタープライズ・サーチ管理者ユーザー ID を削除する。このユーザー ID の下にある全データの削除を選択することができます。
7. オプション: クローलしたデータをすべてシステムから削除したい場合のみ、表スペース・ディレクトリーを除去する。表スペースは、デフォルトでは *ES_NODE_ROOT* ディレクトリー内にあります。DB2 UDB を使用して、表スペースを除去します。
8. オプション: DB2 インフォメーション・センターからエンタープライズ・サーチの資料を除去する。フォルダー *com.ibm.db2.ii.of.doc* および *com.ibm.db2.ii.of.nl1* (翻訳済み言語ファイル) を除去することができます。これらのフォルダーを除去すると、まだ残っているインフォメーション・センターのトピックがリンク切れを起こす原因になる場合があります。そのため、インフォメーション・センターが正しく機能しないことがあります。これらのフォルダーは、2 つの検索サーバー上の以下のデフォルト・ディレクトリー内にあります。

Linux: /opt/IBM/db2/V8.2/doc/eclipse/plugins

AIX: /usr/opt/db2_08_02/doc/eclipse/plugins

Windows 上のエンタープライズ・サーチをアンインストールする

アンインストール・プログラムは、WebSphere Application Server の Web アプリケーションを含むエンタープライズ・サーチ・コンポーネントを除去します。

エンタープライズ・サーチ・コンポーネントを除去すると、エンタープライズ・サーチの資料も除去されます。Windows 上のエンタープライズ・サーチは、「プログラムの追加と削除」機能またはエンタープライズ・サーチ・アンインストール・プログラムを使用してアンインストールできます。

手順

エンタープライズ・サーチ・アンインストール・プログラムを使用して、エンタープライズ・サーチと検索アプリケーションをアンインストールするには、以下の手順を実行してください。

1. インストール・ディレクトリー (*ES_INSTALL_ROOT*) 内の *_uninst* ディレクトリーを表示するか、またはこのディレクトリーに変更する。
2. アンインストール・プログラムを開始する。このファイルをダブルクリックするか、または「*uninstall.exe*」と入力します。
3. 「次へ」をクリックして、エンタープライズ・サーチをアンインストールする。
4. オプション: エンタープライズ・サーチのデータ・ディレクトリー (*ES_NODE_ROOT*) を除去する。アンインストール・プログラムは、データ・ディレクトリーを除去しません。クローलしたデータが *ES_NODE_ROOT* 内に保管されている場合は、このディレクトリーを削除すると、すべてのコレクション・データも削除されます。
5. オプション: クローलしたデータをすべてシステムから削除したい場合にのみ、表スペース・ディレクトリーを除去する。表スペースは、デフォルトでは *ES_NODE_ROOT* ディレクトリー内にあります。DB2 UDB を使用して、表スペースを除去します。
6. オプション: DB2 インフォメーション・センターからエンタープライズ・サーチの資料を除去する。これらのフォルダーを除去すると、まだ残っているインフォメーション・センターのトピックがリンク切れを起こす原因になる場合があります。そのため、インフォメーション・センターが正しく機能しないことがあります。フォルダー *com.ibm.db2.ii.of.doc* および *com.ibm.db2.ii.of.nl1* (翻訳済み言語ファイル) を除去することができます。これらのフォルダーは、2 つの検索サーバー上の以下のデフォルト・ディレクトリー内にあります。

Program Files¥IBM¥SQLLIB¥doc¥eclipse¥plugins

アクセス支援

アクセス支援機能は、身体に障害のある（身体動作が制限されている、視力が弱いなど）ユーザーがソフトウェア製品を十分活用できるように支援します。DB2[®]バージョン 8 製品に備わっている主なアクセス支援機能は、以下のとおりです。

- すべての DB2 機能は、マウスの代わりにキーボードを使ってナビゲーションできます。詳細については、『キーボードによる入力およびナビゲーション』を参照してください。
- DB2 のユーザー・インターフェースのフォント・サイズおよび色をカスタマイズすることができます。詳細については、32 ページの『アクセスしやすい表示』を参照してください。
- DB2 製品は、Java™ Accessibility API を使用するアクセス支援アプリケーションをサポートします。詳細については、32 ページの『支援テクノロジーとの互換性』を参照してください。
- DB2 資料は、アクセスしやすい形式で提供されています。詳細については、32 ページの『アクセスしやすい資料』を参照してください。

キーボードによる入力およびナビゲーション

キーボード・フォーカス

キーボード・フォーカス

UNIX[®] オペレーティング・システムでは、アクティブ・ウィンドウの中で、キー・ストロークによって操作できる領域が強調表示されます。

キーボード入力

キーボード入力

キーボードだけを使用して DB2 ツールを操作できます。マウスを使って実行できる操作は、キーまたはキーの組み合わせによっても実行できます。標準のオペレーティング・システム・キー・ストロークを使用して、標準のオペレーティング・システム操作を実行できます。

キーまたはキーの組み合わせによって操作を実行する方法について、詳しくは、「キーボード・ショートカットおよびアクセラレーター: Common GUI help」を参照してください。

キーボード・ナビゲーション

キーボード・ナビゲーション

キーまたはキーの組み合わせを使用して、DB2 ツールのユーザー・インターフェースをナビゲートできます。

キーまたはキーの組み合わせによって DB2 ツールをナビゲートする方法の詳細については、「キーボード・ショートカットおよびアクセラレーター: Common GUI help」を参照してください。

アクセスしやすい表示

アクセスしやすい表示

目的

アクセスしやすい表示

フォントの設定

フォントの設定

「ツール設定」ノートブックを使用して、メニューおよびダイアログ・ウィンドウに使用されるテキストの色、サイズ、およびフォントを選択できます。

フォント設定に関する詳細情報は、「メニューおよびテキストのフォントを変更する: Common GUI help」を参照してください。

色に依存しない

色に依存しない

本製品のすべての機能を使用するために、ユーザーは必ずしも色を識別する必要はありません。

支援テクノロジーとの互換性

支援テクノロジーとの互換性

DB2 ツールのインターフェースは、Java Accessibility API をサポートします。これによって、スクリーン・リーダーその他の支援テクノロジーを DB2 製品で利用できるようになります。

アクセスしやすい資料

アクセスしやすい資料

DB2 の資料は、ほとんどの Web ブラウザーで表示可能な XHTML 1.0 形式で提供されています。XHTML により、ご使用のブラウザに設定されている表示設定に従って資料を表示できます。さらに、スクリーン・リーダーや他の支援テクノロジーを使用することもできます。

シンタックス・ダイアグラムはドット 10 進形式で提供されます。この形式は、スクリーン・リーダーを使用してオンライン資料にアクセスする場合にのみ使用できます。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、米国以外の国においては本書で述べる製品、サービス、またはプログラムを提供しない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、製造元によって明示的に指定されたものを除き、他社の製品、プログラムまたはサービスを使用した場合の評価と検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-0032
東京都港区六本木3-2-31
IBM World Trade Asia Corporation
Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム（本プログラムを含む）の間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation J46A/G4
555 Bailey Avenue
San Jose, CA 95141-1003 U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほめかしたり、保証することはできません。お客様は、IBM のアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠し

たアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生した創作物には、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

Outside In (®) Viewer Technology, ©1992-2004 Stellent, Chicago, IL., Inc. All Rights Reserved.

IBM XSLT Processor Licensed Materials - Property of IBM ©Copyright IBM Corp., 1999-2004. All Rights Reserved.

商標

ここでは、IBM の商標と、特定の IBM 以外の商標をリストします。

以下は、IBM Corporation の商標です。

IBM
AIX
AIX 5L
DB2
DB2 Universal Database
Domino
Informix
Lotus
Lotus Notes
Notes
OmniFind
WebSphere
xSeries
z/OS

以下は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Intel、Intel Inside (ロゴ)、MMX および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

IBM と連絡を取る

お客様の国または地域で IBM に連絡する方法については、Web の www.ibm.com/planetwide にある「IBM Directory of Worldwide Contacts」にアクセスしてください。

製品情報

DB2 Information Integrator に関する情報は、Web により入手できます。

Web の www.ibm.com/software/data/integration/db2ii/support.html にアクセスしてください。

1. 製品の注文または一般情報の入手: 1-800-IBM-CALL (1-800-426-2255)
2. 資料の注文: 1-800-879-2755
3. Web の www.ibm.com/software/data/integration/db2ii/support.html にアクセスしてください。

このサイトには、次の最新情報が入っています。

- 技術ライブラリー
- 資料の注文方法
- 製品のダウンロード
- ニュースグループ
- フィックスパック
- ニュース
- Web リソースへのリンク

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アンインストール

Linux および AIX 上のエンタープライズ・サーチ 29

Windows 上のエンタープライズ・サーチ 30

インストール

クローラー・コンポーネント 21

検索コンポーネント 22

索引コンポーネント 23

シングル・サーバー 13, 15

前提ソフトウェア 9

マルチサーバー 17, 20

DB2 Universal Database 9

DB2 Universal Database Run-time Client 9

Deployment Manager 9

Network Deployment (ND) フィックスパック 1 11

WebSphere Application Server 9

WebSphere Application Server Network Deployment 9

WebSphere Application Server Network Deployment フィックスパック 1 9

WebSphere Application Server フィックスパック 1 9, 11

インストールの概要

シングル・サーバー 13

マルチサーバー 17

インストールの順序

前提ソフトウェア 13, 18

インストール方式 6

グラフィカル 6

サイレント 6

テキスト・モード 7

インストール・シナリオ 5

インストール・ディレクトリー 8

インフォメーション・センター 27

エンタープライズ・サーチ管理者パスワード 8

エンタープライズ・サーチ管理者ユーザー ID 8

エンタープライズ・サーチのインストール・ディレクトリー 8

エンタープライズ・サーチのデータ・ディレクトリー 8

[カ行]

各国語 5

管理者パスワード、エンタープライズ・サーチ用 8

管理者ユーザー ID、エンタープライズ・サーチ用 8

グラフィカル・インストール 6

クローラー・コンポーネント

インストール 21

クローラー・サーバー 21

言語選択 5

検索、エンタープライズ・サーチの資料 28

検索コンポーネント 22

検索サーバー 22

コンソール・インストール 7

[サ行]

サイレント・インストール 6

索引コンポーネント 23

索引サーバー 23

サポートされるオペレーティング・システム 1

資料 28

シングル・サーバー・インストール 15

シングル・サーバー・インストールの概要 13

選択、言語の 5

前提ソフトウェア 1, 9

インストール 6, 9

インストールの概要 9

順序、インストールの 13, 18

ソフトウェア要件 1

[タ行]

データ・ディレクトリー 8

ディスク・スペース所要量 2

テキスト・モード・インストール 7

[ハ行]

ハードウェア要件 2

ファースト・ステップ 25

開始 25

方式

インストール 6

翻訳済み資料 5

[マ行]

マルチサーバー・インストール 20

マルチサーバー・インストールの概要 17

[数字]

4 つのサーバーへのインストール 20

D

DB2 Information Integrator インフォメーション・センター

インストール 7

DB2 Universal Database

インストール 9

DB2 Universal Database Run-time Client

インストール 9

DB2 インフォメーション・センター

開始 27

DB2 インフォメーション・センターを開始する 27

DB2 インフォメーション・センター・サービス

開始 27

DB2 インフォメーション・センター・デーモン

開始 27

L

Linux および AIX 上の Deployment Manager

開始 25

Linux および AIX 上の HTTP サーバー

開始 25

Linux および AIX 上の WebSphere

Application Server

開始 25

Linux および AIX 上の WebSphere

Application Server Network Deployment

開始 25

Linux および AIX 上のアプリケーション・サーバー

開始 25

Linux および AIX 上のエンタープライズ・サーチ
開始 25

Linux および AIX 上のエンタープライズ・サーチをアンインストールする 29

N

Network Deployment (ND) フィックスパック 1
インストール 11

P

PDF の資料 28

W

WebSphere Application Server
インストール 9

WebSphere Application Server Network
Deployment
インストール 9

WebSphere Application Server Network
Deployment フィックスパック 1
インストール 9

WebSphere Application Server フィックス
パック 1
インストール 9

WebSphere Application Server (ベース) フ
ィックスパック 1
インストール 11

Windows 上の Deployment Manager
開始 26

Windows 上の HTTP サーバー
開始 26

Windows 上の WebSphere Application
Server
開始 26

Windows 上の WebSphere Application
Server Network Deployment
開始 26

Windows 上のアプリケーション・サーバ
ー
開始 26

Windows 上のエンタープライズ・サーチ
をアンインストールする 30

Windows 上のエンタープライズ・サー
チ・システム
開始 26



部品番号: CT318JA

Printed in Japan



GD88-6373-00



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12

(1P) P/N: CT318JA

